古刀銘盡大全

刀劔見様之事

六

表ハ君万歳ト打裏ニ備前国友成ト打ハ友成の時初銘と見ひ
いうるし太刀也大暑二字ともに備前国友成氏打ノ隠し銘煩悩ト
打目銘二人ありといふ

○吉包 長暦比 太刀姿丈夫なる者也居りはさく小切先ことぐくりと
して肌わりの中すぐ刃広すく刃変りて小乱刃なり又丁子刃も
あり刃うつりさりと堅しぼうしお乱るしも丸くおかえりたる
有○忠も○肉やとりきて先栗尾

○正恒 永延比 太刀姿ほそく先じ鎬造多し居りあささく鍛
正目細かに見ゆし小切先之○小乱刃丁子刃変り又ハ大ぶさ成丁子の
飛乱入るも有太出来なるも有又ハさら乱成もあり沸あるを
倫おてる同銘三人なり二代め三代め次第に劣きる二代め小乱刃
三代めハ元に小乱有て中程より上広すぐ刃又二字国俊のごとく
なるもあり○忠も○肉すとり揚るもありなり先栗尾也此外
異正恒とて二人あるよし又久之倫中銘字の正恒を加へ七将の習ひあり
一文字太作小板鑢かなし太刀刀造なるへ希也居りも

浅く太暑鎬造小切先也丁子乱刃るはひろく沸すく匂し
遊乱太出来なるも小出来成も有みだしなきく撫焼にとなる
有忠も○肉すとり鋭遠先栗尾○古銘一文字ハ鑢も有切先
おい延びるも有居おふく乱刃ふちら一文字かハ匂ひ甚すく
位わしい中より太筋違も有希なれ共すぐ刃もあり

○則宗 元暦比 二月鍛冶 太刀姿ほそく鎬造りく鎬造居浅く小切先
鍛正目ゆるし細かにうつし鍛かは細かなり○丁子刃玉有小乱まさら見
入るも有ますのけもあり又ハ先丁まで刃広くさるも有沸るまあり
をぐもてうすく上手なり○忠も○肉やすり太筋違中筋違
先おそく栗尾あり此作の太刀に後鳥羽院の御作あり菊作と
いふ京の銘に易く記を御番の附打太刀ハ私の銘を忠の先へ
下て則宗と打なりかの番鍛冶ともに同事なりよて十六葉の
菊を切一文字をも打事ありり此外長船よ則宗と銘を打
鍛冶あり是も上手なり勝元中乱刃先ハ広すく刃正目細かなり
正恒に似たるといふ多分も長船住ト打銘をそし忠ハ番鍛冶有

似たり又和らく目強有

○安則 元暦頃 則宗子 古刀姿なとく反高し鎬せまく庵浅し擬正目肌いりにも細き小乱刃沸あり則宗に似たり姿品よき也又よく似たるの劣る

○助宗 同頃 九月二番カヂ 古刀姿巾広く切先のびたり庵中浅きとあるたる古刀にてなとし姿刃二つ字國綾に似たり擬正目細也のたれ乱刃もあり是に焼乱先沸る腰刃あるも有大一文字と小菊も助一文字をさる切なり忠もあり筋遠栗尾

○助成 同頃 十一月番カヂ 古刀姿中巾広く庵中擬正目乱刃助宗に似たり出来浅ききん也好助重と並頃以下手之後出家擬浅に成上手に成たり

○助延 同頃 正月番カヂ 古刀姿なとく鎬正目細也小乱刃丁子を細に焼たるもあり沸もあり姿品よきありよき

○延房 同頃 二月番カヂ 古刀姿なとく鎬高く庵中ひさしひ正目丁子刃太き小乱なるも有沸細にあり小乱刃まじる焼なり忠此○丸く中るり横又は筋遠もあり栗尾

○信房 同頃 三番カヂ 古刀姿丈夫なるも有鯰(?)もんだり庵中小切先擬本ニ肌こまかなり○小乱刃上がりまて刃細くなる又ありて小出来に刃広きも丁子刃に則宗に似たるもありおくし丸し焼つめたるも有○忠もち○丸く中よう横小筋遠太筋遠あり栗尾

○信正 貞応頃 信房子 古刀姿なとし又よく似たるまる○もあしし うすく鎬高く庵ふくら擬正目乱刃上手也先の刃焼つめるおしかゝりたるもあり

○宗吉 元暦頃 七月番カヂ 古刀姿巾せまく庵ひきく小切先擬正目細に見し小乱刃丁子刃に玉とも焼。沸る所有ひとつあり。丸。忠もち○丸くやすり横小筋遠も中筋遠も有先栗尾也并一文字に及ぶ先太し 則宗 宗吉は先なとくらみし

吉宗 宗吉子 元仁頃 刀太作出来以下宗吉に似たり刃の上手なるも有忠同前

吉用 助吉子 文永頃 刀太作出来以下宗吉に似たり乱気毎の匂すぐ多もなくに足の入たるもあり忠同前なり

○吉家 建暦頃 宗吉子 古刀姿なとく庵中擬正目細に本工肌あり切先浅く中あらく丁子刃の上手之上まで刃広きも有ちけいあり

姿則宗に似たり三条吉家と同人といふ説有不用 但し出来無銘
然忠詮なとも備前物は姿も大のきの肉も吉家造にも忠吉より
筋違なり○三条は平つくりけし吉家作とも掟右すりなかこ
よく沸よえの刃広し

○吉平 天福比 吉家子 太刀姿反て深く広く丈夫にて鋒小さく
小切先鍛正目うつくしき白け丁子刃出来焼浅し深し
先ハ刃ひろさもあり守家に似たるもあり腰刃有もありうつりの
ごとく焼出して見えたるもありうるしもありむらし丸し○忠
むね○肉やせたり掟ましたは筋違もあり

○吉房 建保比 生岩カチ廿四人内 太刀姿巾ひろくて反深く広く鋒浅し小切先有り
鍛正目なり肌ありて白け○丁子刃大ぶりさに○乱先たて乱
匂ふかく地刃ふかくひ出来たり寛く深く沸なし
むらし焼つよきもあり○忠むね○肉せまり太筋違栗尻小鍔有り
外に助房子孫同銘二代丁子刃なきは埒に劣とも大銘く埒る
又きくすへ刃小乱なり候中より同銘あり銘もし幸なり

○吉元 弘安比 吉房子 太刀姿吉房に似たり乱刃丁子まじり焼とくもし
刃の姿いやしく見ゆるなり初吉房が子助吉の弟子なり

○貞真 同比 太刀姿おほそく鋒○ほつく深く狭し鎬深く
鍛正目に腰ぬけ腰刃をとりて焼出の鋒まさり見よ景気を
焼丁子刃は錦とその刃ふろしむしじの内すぐ刃丸くしかける
刃浮あかりたる所に堅し沸に淡ふに宵

○近包 弘安比 太刀姿ほそく鋒深く小切先鍛本木目さなり
小乱刃古備前風也吉平にも似たり○ところ乱足くみく小出来之
おつて沸ほらし丸し○忠むね○肉やすり筋違

○則房 建保比 助房子 津住山右馬允 太刀姿反浅く棟厚に鋒中鍛正目鉄
ときさえて堅さんあり丁子刃大小交りて焼なり丁子刃の乱足と
地へふかく入て小乱とむろまて焼乱を焼なり

○是助 同比 同弟 生岩カチ廿四人内 刀鋒ひろく小切先本土肌多く白け肌
あしいすぐ刃おつて乱。むらし丸○忠むね○肉せまり筋違栗尻

○助真 文永比 同弟 則宗弟子成 太刀姿反高く長く鎬中遠丈夫なるを

小切先庵中も低きも有　鑢板目細かなる肌之也。焼有もあり
大一文字によく似たり　大乱刃丁子刃之うく沸つよも有　丁子刃重て
見ゆるも也　位はり刃よりほそ中にまろく合たり　ほし丸。忠也。肉やすり
小筋違　先栗尻　銘二字　後は藤原金ありて一段上手也　藤源治ノ親也

○助光　貞永比　吉岡一文字　大刀姿良く　ふんばりて　庵低し　鑢目細なり
乱刃小出来之　さら足よ　上へすぐ刃よ　小足を入たり。忠すり筋違
先栗尻　備前国吉岡住助光と　銘二字にも有

助吉　建保比　助光又　大体出来以下　助光に似たり　刃広く　さら乱上る
小出来之一文字と見ゆる　大出来なるも有　忠同前あり

○真利　貞治比　吉真子　大刀姿そりて　鎬かしこく反　庵低く　鑢目
肌あらめ也　地刃共に細かに本上はり　腰元と小乱に中程を大ぶさ
ある丁子刃さか焼。丁子の盛角立て　小さぎ横よ　守家に似たる
も有　中程て　細く足を焼入たり　すぎ　有もはり　腰刃を
ならびのように焼たり　おりし刃広し。忠やすり筋違なり
此外旧銘別に庵子　貞意の比二人有

○国宗　暦仁以後相州住　彼か二之弟子とス　大刀姿長く　巾狭く　中先細く　小切先
庵おさく　鑢板目　肌あらめ之白ける　腰元より乱　先へ入のくれん
もあり　広すぐ刃に足を入たるも有　丁子刃小出来成も
又大出来なるも有　いづれも刃のよ　大み多し。ほうし丸し
鑢のありれたらなりよ沸なし。中入れ深さもはり　小模様あて
いまだ出来及ばず。忠也。肉すり筋違　栗尻　後京にして
六波羅に住　国直弟　貞永比　鎌倉下　正治　暦仁ノ頃　又弘長ヨリカマクラ住ス　彫物をする事
希ノ京にて有しも焼てる日子政宗も後国宗とも有

○守家　宝治比　畠田住人　大刀姿　鎬か広さん　庵低く　小切先　鑢目
こまかなる也　おらけるも有。丁子刃元に乱を専らに焼て先へは乱も少く
焼。丁子の盛か角立之　瓢箪刃二重の丁子刃も有　又腰刃を乱りして
広く焼もあり。のたれ也　うつりも有　刃の上に　ては有　おりし丸
小模様は希之造りすぐ小巾之。忠也。肉すり筋違栗尻　守家造
有二字有も有。二代目子同銘丁子刃なれ共　劣る　瓢箪に二重も刃は少し
銘守家造ゐる也　守の字違う之又長船一人同銘有　家助もめ有之

小切先肌は白けて乱刃先みだれ小さき乱也刃まちきはまできはとする
くゝみてする尋常広くのたれも有刃広くさる有なかし丸くかかり有
は沸なる有也○焼あり小照先は中○忠也○肉ゆり大筋違栗尻

○景光　兼長比長船住　兼光子　古刀刀銘重ねあつく鎬ぜまく三角のかたち似る也中の
中高にも有広からず小切先腰細く梨子肌のかたちに白けて小乱鋸刃
又はすぐ刃にのこぶり足の交りするも有地は乱入も有あらし刃よりのかた乏
沸なるも有又はすぐ刃計のも有たまるしの内すぐ刃先丸し○小振なる造
すぐ小刃巾之三棟も有のこぶり刃もすぐ刃も有すぐ丸さる見たるも有
刀はかりもすくれたる○忠也○肉も角も少きり筋違栗尻此造りを
景光似るとは刃巾せばく手より広き巾広さと兼光造りは日本に有

○景政　康永比　大宮祖　刀樋も鎬造もあり大体景光同事也のこぶり刃
かさり乱のかたちもあり地は乱入も有小振なる造兼光同おか乱れも大成
もあり　彫物あり○忠也○肉少きり筋違栗尻

○義光　建武比長船住　景光子　刀姿大体樋もあり広からし切先ゑとのこぶり刃
又はのこぶりにのたれの交りするも有たまにすぐ刃も有。小振なる造りす
すぐ刃。のこぶり交するも有兼光の振成も有○忠也○角ゆり筋違栗尻

○兼光　建武比長船住　景光子正宗弟子　古刀刀姿巾広く広からし三棟も有中切先
樋もあり細し鎺元又の計上手て丸どかふする鎺板目白けて地は
うるはしくされて見ゆるもあり沸なくのこぶり刃ものたれ刃も
有又は広きくれ足の入てするも有がすし丸さるもどかりたるも有
小振なる造り反まるすく巾広くあるは造すぐ成も有すの延るど
たるも有のこぶり刃のたれ刃のたれのこぶり交するも有あるはすぐ刃
も有也しかし刀同おの○忠也○肉も角も少きり筋違先栗尻彫物
よくも鍛へりかしてもみじかし一正宗弟子に成て諸に語人金風あらく
見てすく弟子になしくざる沢おい巾もせばく乱と小足すすとる也

師光　兼光子　倫光兼光三人とも似たる出来あり

兼長　康暦比　長直子　大体出来似下兼光の如しかし沸なる大出来成有

義景も大体兼光に似たる出来あり

○倫光　貞治比長船住　兼光子　刀造巾広くさるも大体あるも有広からし三棟有
彫物あり○大のたれ刃又は乱の交りするぐのめかた乱乱しもあり

肌白ける也乱はさら足の交りたるもすぐ刄もすぐ刄に足の入りたるも有
帽子は焼なえたるも有おとし丸くかへり有小板目にて帯之造
すぐ焼也○角も肉なくしてやすり小筋違栗尾目子目録　文保元

○雲次　文保ごろ備前住　雲生子　刀姿細く広くひくし又は高きもあり庵平
小切先也肌白ける○小乱刄又はすぐ刄に小乱の交りたるもえ乱には
すぐ刄に足の入りたるも有よく沸るおとし丸くかへりかかり
後半よりのふくらたるも有小板目帯之造すぐも反りたるも有出来刀
目結忠ひも肉やうり大筋違先栗尾目録也人有

○雲重　建武ごろ備前住　二代目雲生子　刀姿巾広く細く広く庵浅く切先延る
肌白ける也乱もすぐ刄に小乱たるも有よく沸る帽子丸し
小板目造反り巾広く三ッ棟もありすぐ刄もあり甚希刀目録
忠ひも肉やうり大筋違先栗尾

○吉井物　正応 貞永ごろ　刀姿巾広く○ふくら三角なるも大仕成も有庵浅
三ッ棟も有切先延びたるも有肌白ける○小乱刄又はすぐ刄に足の入りたる
も有帽子細すぐ刄又はかへりよく丸くすぐのかか乱も有地沸

本なり○すぐりしの有もたりおとし丸く沸りたるも有○小板目造反り
たるもすぐも有出来以下刀目結也○忠ひも丸くやうり筋違栗尾○
長則は刀姿○ふくらく庵浅くすぐのか小乱交もすぐに小乱足交も有
まれに刃の振子なまづ肌の有もあり

景則　古備前長光子　其弟吉則清則共後出雲に住す道永一類同人あり
後作備前大仕刀造小巾も広きも有庵むかし三ッ棟も丸棟も有
小切先又は延びすぎたるも大切先も有樋くきたるは鎬の巾せばし
剱梵字彫物は希也肌白けてなまづ肌くらふむしも有の鎬
正目おしてうつりきも有○小板目造巾広く首元山地は
刀は希に大切先也刀拵多し○大略すぐ刄多しまたれたかか
足あり乱足もさら足もさら乱も有大出来なるも有刄ふち
ふくらかとして青ひ細く沸ておうの細すぐ刄も中すぐ刄も有
ほらし丸く又はとがりたるも有かへりふかし○忠ひも肉やくまり
浅く鋤のさきとも筋違なり先栗尾或は横やすりもあり
ひらき庇も有べし也双方名剣厚し

細すぐ刃も有〇小鍛冶造すぐ菖蒲造多し中鍛冶る
ひろり出来似下刃けあ〇忠やとり様先やらく栗尻

安吉　建武比長門住　本国筑州の人　出来本国左安吉同しゑすみ〻く沸あり
すぐ刃もあり長州の作ハお劣まり

〇西蓮　文保比　筑前国住　刀姿巾広く鎬お広さ方指裏ろく丸棟
もあり大𠮷樋あり深し鍛正目細おして諸鉄稀さきらん也
細すぐ刃お乱ぐんも有沸細やかり刃のとゞまりおるへけ浅くし
丸し〇小鍛冶造すぐも反ある有巾広〇中菖蒲造もひろり
忠也〇肉やとり大磨遠栗尻銘筑前国博多談議所国吉法師
西蓮氏お二字ふ西蓮とも国吉氏お也

〇実阿　正慶比西蓮子　筑前国住　大方刀姿おおそく小切先丸棟も有樋も有
鍛板目沈てまゐるくすぐ刃又ハ小乱も有刃のとまり西蓮ふ
似くすぐりの之作お劣まり忠西蓮ふ似くり

〇左　元亀比実阿子正宗弟子　筑前国後博多住人　刀姿巾あり鎬たかく多く樋あり
唐ふりし棟のろく板目ちぢ細ふらくし切先ぼうし多

のたれ乱刃沸あろく後乱刃の先とがりてさら心ほり。かへし
とがりてかゝりふ〻し。よく沸乱るし左のぼうしハ一流有極之二字とに
成たる心あり彫物有もひろり〇小鍛冶造反差おもすぐ成るも有
小巾なるも巾あるも有。まる〇中。たゞ無くすぐ刃も有肌細やかに
板目たちまえるも有〇忠也〇肉やとり大磨遠先おそく栗尻
銘筑州住左氏又裏ト表ト共押形の如く柔し銘ふ右之の
筆法おゐと〻ゑ隠し銘源慶氏お也と法名也

〇安吉　建武比左之子　筑前住後長門住　小鍛冶造反巾中。庵ふかし三棟もひろり
鍛肌うつくしむ左鍛おんすぐ刃くゝ見るふくらかゝしすの延る之ぎ
たるもひろり〇乱刃ふぐの出風ふ丸し沸あるもひろり焼く乱入
まじありおけしる〻く有〇刀ハ希之切先延る出来似下左同お
中ふうしを刃広くさら足ん成も有〇忠也〇肉浅大磨遠先
おそく栗尻刀のやとり平を磨遠鎬を横ふ充ゝるる有なり
左安吉氏安吉ト共も打後長州まて作ハお劣る也

吉貞　安吉子　大体造安吉ふ似くり是ふかしるるいのかれてるも有

やきしまりかねいろ〱の出来有。帽子も角帽子あり焼先おそく栗尾

○能定　応安比京了戒弟子　後京了戒ト云　大方湾れ巾あり鎬いさく肌了戒
風なり小乱刃すぐ刃おとし焼つめ沸ある梵字多し帽子
肉やすらり横手飛　能定と有

○延寿　正慶比ヨリ数代　肥後国住　大方湾れおそく鎬広く庵棟三棟も有
樋もありふ切先浅き直目。すぐ刃又は少乱なるもすぐ刃に乱足の
入りたるも小ぐのめの交りたるも有沸ある匂ひ有おとし丸し小切先
造とく巾いろ〱有帽子もすぐ刃。おとし丸し少し付ぶかみ刀銘あ
忠也帽子肉やすらり横手栗尾鎬たか帽子ぶくとなり関ちかし
国資　国継は小切先造反りたるもありのたれ刃も有
国吉　国村は小ぐのめもあり　門国は匂さつる有
元来京来国行より出たる物なれは大略出来以下忠と来に
似たるものなりたまく板目もあり

○波平　文保比ヨリ数代　薩摩国住　刀中鎬高も有樋もなり切先大中小色々有
細にすぐ刃又はさりけたるも有。小切先造いろ〱巾すぐ匂く

三棟も庵帽子も丸帽子も有すぐ刃たたさりけたるも又乱足の入
たるも小乱の交りたるも有沸たるも沸のなきも有おとし丸き
またさりけたるも有彫物鈍伴杯有も多し未の彼方物の鎬
みだれ刃も有三原の金剛兵衛杯のすぐ刃に似たる物もなり
中には強く鉄によく肌多くありて冴く。帽子角又は丸きも
有やすりひがきなり又は横も筋違も有先栗尾
正国　永延比丸帽子多く小乱刃細くのたれも有鑢筋違隠鑢八方
行仁　大略広さ樋ありすぐ刃小乱もありこ〱也
行安　湾おそくよく出来たる鉄つまりたる来国俊の作にも似たり
清左　重吉杯はみだれ刃多く帽子横なり

○入鹿　文和比　紀伊国住　小切先造すぐ巾帽子も色々有刀は樋之
すぐ刃ほつれし丸く正目のまじりひわらし鑢横も筋違も有
実次　肌は以下錆三郎に似たり帽子刀は横小切先は筋違之

○国次　応永比　紀伊国粉川住　刀中鎬高小鎬高いろ〱有湾れ細く庵深く
丸帽子も有流板目も正目もあり。すぐ刃色々川するとする

沸もおほく堅く細し。たましくの如く乱るゝも有又はひたつらも
皆のたれし也。○忠也○丸く中より擢も小筋違も有先おそく
栗尻厚くなり也路図の字図如是切りなり形をなし江戸図次下云

○海部 康暦比 阿波国住 刀姿巾広○中也庵ふっくら太切先もあり
刄広くの少し錆小先の刄広し○小脇差違りすく三棟も有すく刄
又はのすこし乱も有○番小ひさつても有○忠也○肉中より錆き過
末の作は切刄にて庖丁派作に似たり下作なり

○吉光 暦應比 土佐国住 小脇差違すく小巾広○厚の良し庵ほそく
三之棟にあり刀は希也○すく刄おほし丸く沸あるも有○忠也○なく
中より擢先栗尻薬研田口に彫有目利有。往おとれる甚多
各別違ひなる所あり派も彫物も違ひあり

古刀銘尽大全巻之六終